

# 遠州常民文化

第277号

遠州常民文化談話会会報

2024年6月29日

◇惜別の6月	名倉 慎一郎	1p
◇民俗誌「二侯の民俗」の調査事業について	遠州常民文化談話会	2p
◇ムラと婦人 生活改良普及員の活動をふりかえって 13	今村 純子	3p
◇佐久間の鬼オドシ	伊藤 久仁俊	4p
◇新聞記事切り抜き、イベント案内等		7p



二侯の歴史をたどる--- ②中世の二侯-1

- ・「二侯」の地名の文献上の初出は鎌倉時代の吾妻鏡。文治2年(1186)の条に「三侯山」の記載が見られる。
- ・南北朝争乱期、建武5年(1338)に「二侯の城」が文献上初出。(内田致景軍忠状写/内田文書)
- ・二侯郷の石高12石5斗2升(文和3年(1354)の徳川家康自筆)
- ・「二侯郷」は現在の二侯地区より広い範囲を指す。光明地区の山東、船明、大谷村なども含んだ総称。

徳川城(沼津市地域遺産) 結曲輪や井戸池があった山

元内山真龍記念館勤務 原 昌弘さんの特別講義「二侯を伝える」(5月定例会)